

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 18 年 8 月 3 日 (2006.8.3)

【公表番号】特表 2005-539261 (P2005-539261A)  
 【公表日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)  
 【年通号数】公開・登録公報 2005-050  
 【出願番号】特願 2004-537353 (P2004-537353)  
 【国際特許分類】

**G 1 0 L 13/06 (2006.01)**

【F I】

G 1 0 L 13/06 2 4 0 D

G 1 0 L 13/06 2 1 0 Z

G 1 0 L 13/06 2 4 0 E

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 6 月 16 日 (2006.6.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

オリジナル音声信号のインターバルの第 1 クラスに第 1 識別子を割り当て、前記オリジナル音声信号のインターバルの第 2 クラスに第 2 識別子を割り当て、

前記オリジナル信号をウインドウイングして複数のピッチベルを用意し、

割り当てられた前記第 1 識別子を有するピッチベルを処理して前記音声信号の時間幅を調整し、

処理されたピッチベルに重畳及び加え合わせ操作を実行する、

音声信号の合成方法。

【請求項 2】

前記インターバルの第 1 クラスがステッディインターバルである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記第 1 識別子として第 1 コード又は第 2 コードが用いられ、前記第コードが非発声インターバルを表し、前記第 2 コードが発声インターバルを表す、請求項 1 又は 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記インターバルの第 2 クラスがダイナミックインターバルである、請求項 1 ないし 3 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 5】

前記第 2 識別子として第 3 コード、第 4 コード、第 5 コード、又は第 6 コードが用いられ、前記第 3 コードは音声信号の明瞭性に対して不可欠な非発声インターバルを表し、前記第 4 コードは音声信号の明瞭性に対して不可欠な発声インターバルを表し、前記第 5 コードは音声信号の明瞭性に対して不可欠なものではない非発声インターバルを表し、前記第 6 コードは音声信号の明瞭性に対して不可欠なものではない発声インターバルを表す、請求項 1 ないし 4 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 6】

前記第 5 又は第 6 コードに割り当てられたピッチベルが任意に削除される、請求項 5 に

記載の方法。

【請求項 7】

前記音声信号のウィンドウイングのために二乗コサイン関数が用いられる、請求項 1 ないし 6 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 8】

前記音声信号の非発声ステッディインターバルのウィンドウイングのためにサインウィンドウが用いられる、請求項 1 ないし 7 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 9】

さらに、前記重畳及び加え合わせ操作を実行する前に、非発声ステッディ周期のピッチベルを無作為化する、請求項 1 ないし 7 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 10】

前記ウィンドウイングが、前記音声信号の基本周波数と同期して位置するウィンドウ手段によって実行される、請求項 1 ないし 9 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 11】

オリジナル音声信号の時間幅を調整するために、

オリジナル音声信号のインターバルの第 1 クラスに第 1 識別子を割り当て、前記オリジナル音声信号のインターバルの第 2 クラスに第 2 識別子を割り当てる処理ステップと、

前記オリジナル信号をウィンドウイングして複数のピッチベルを用意する処理ステップと、

割り当てられた前記第 1 識別子を有するピッチベルを処理して前記音声信号の時間幅を調整する処理ステップと、

処理されたピッチベルに重畳及び加え合わせ操作を施す処理ステップと、

を実行するためのプログラム手段を備えた、

ディジタル記憶媒体のようなコンピュータプログラム。

【請求項 12】

音声信号を保存する手段と、

オリジナル音声信号のインターバルの第 1 クラスに割り当てられた第 1 識別子を記憶し、オリジナル音声信号のインターバルの第 2 クラスに割り当てられた第 2 識別子を記憶する手段と、

前記オリジナル信号をウィンドウイングして複数のピッチベルを用意する手段と、

割り当てられた前記第 1 識別子を有するピッチベルを処理して前記音声信号の時間幅を調整する処理手段と、

処理されたピッチベルに重畳及び加え合わせ操作を施す手段と、

を備えた、コンピュータシステム、特にテキスト / 音声変換システム。

【請求項 13】

重畳され加え合わせされた複数のピッチベルからなる合成音声信号であって、オリジナル音声信号の時間幅調整を実行するために、前記オリジナル音声信号のステッディ発声インターバル又はステッディ非発声インターバルのピッチベルのみが処理されている、合成音声信号。

【請求項 14】

重畳及び加え合わせ操作の前に、ダイナミック発声又は非発声インターバルに属する 1 つ又はそれ以上のピッチベルが削除されている、請求項 13 に記載の音声信号。